

生徒 (年 組 番)

1. 現在考えているテーマやキーワード（関心のある領域）

(例：環境問題、スポーツ科学、地域課題、AI 活用、生物学など)

【問い合わせの形にする】→ タイプに当てはめて問い合わせの言語化をサポート。

- ・なぜ～は～なのか？（Why 型）
- ・どのように～は変化するか？（How 型）
- ・～と～にはどんな関係があるか？（Relation 型）
- ・～によって～は改善するか？（Impact 型）

2. 深めるための視点（面談でチェック）

- このテーマを選んだ理由を、もう一度“具体的に”教えてください。（専門用語を正しく理解しているか確認しながら）
- その疑問は、どんな場面・経験から生まれましたか？
- いま考えている疑問は「だれの」「どんな」課題とつながっていますか？
- テーマについてすでに調べたことの中で、特に驚いた・気になった点はありますか？
- その問いは、どのように量・数値で捉えられますか？（測定・比較できるか）
- その問いは、どのような変化・関係で捉えられますか？（因果・相関・構造）
- あなたの問いには、どの教科・学問分野の考え方が関係しそうですか？
- 似た研究や先行事例を知っていますか？
- 実際に調査・実験するとしたら、どのような方法が考えられますか？
- 期間・場所・人数など、実施可能性に課題はありますか？
- この研究が実現したら、どんな人が喜ぶ・役立つと思いますか？

3. 次回までのアクション（To Do）の意識化

- 次回までに調べることは？
- 次回までに準備することは？
- 次回の面談予定